2　学校経営展望

学校の使命：子どものよりよい成長

子ども一人一人を大切にし、よさや可能性を伸ばす教育の推進（本校教育の指針）

子どもに対する使命：教育目標の実現

○　よく考え　行動する子
○　思いやりのある子
○　最後までがんばる子

地域に対する使命：地域コミュニティの中核

○　学びの場
○　育ちの場
○　集いの場
○　夢つくりの場

【めざす児童の姿：本年度の重点目標】
○人の話を最後までしっかり聞く
○自分の考えや思ったことを発表する
○善悪の判断ができ、正直に言える
○きまりを守り、他人に迷惑をかけない
○自分のめあてをもち、ねばり強くがんばる
○交通ルールをしっかり守る
☆当たり前のことが当たり前にできる

学校使命の達成

【めざす学校の姿＝信頼される学校⇒地域協働学校】
○安心・安全な学校
○学びを大切にする学校
○体・心をきたえる学校
○通いたくなる学校
○通わせたくなる学校
○勤めたくなる学校

学校教育目標　総括目標：一人一人の個性が生き、豊かな人間性と創造力に富む心身共に健全な児童の育成
具体目標　○よく考え　行動する子（知）　○思いやりのある子（徳）　○最後までがんばる子（体）

【大謝名小　合言葉】（凡事徹底　児童啓発）
当たり前のことが当たり前にできる
“スーパー大謝名っ子”をめざす！

そのための合言葉、「6 年生を見習いなさい！」

教育目標の具現化

【めざす保護者・地域の姿】（保護者啓発・協力）
○子どもを理解し、夢や希望を育む保護者・地域
○物事の善悪を深い愛情で諭す保護者・地域
○子どもを見守り、安全を考える保護者・地域
○教育活動に連携・協力する保護者・地域

確かな学力の向上
主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業改善
学力向上推進５カ年プラン・プロジェクトⅡ

自他を認め・高め合う児童の育成
「目的の明確化と自律的活動」の推進
豊かでたくましい心と体を育む教育の充実

課題解決・目標達成の
ための具体的取組事項

令和３年度の重要課題

指導課題○学習指導要領の全面実施
学習指導：
①児童自身が考え、課題を解決する体験（自己肯定感へ）
→縦割りグループによる異学年（1～6 年）での活動を学習・清掃・遊びへ取り入れる
生徒指導：
①基本的な生活習慣の定着
→当たり前のことが当たり前にできる“ｽｰﾊﾟｰ大謝名っ子”
②集団としての“高み”“高まり”の実感
→支持的風土をつくる学級経営（集団形成）
③生活リズムの乱れ・欠席傾向
→SSW・SC による支援、教育相談の充実

経営課題○　幼小中連携教育：共通実践項目の指導徹底（そろえ・つなぐ・はぐくむ）
①学級間差を減らす
→校内研の充実（大謝名ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ）と共通実践（大謝名ｽﾀｲﾙ）
②教師の指導力向上・若手人材の育成
→学校 OJT（一人一回授業・校務分掌による職能成長）
③教室環境整備（ICT 整備・教具の充実）
→電子黒板・タブレット端末等を活用したわかる授業づくり
④地域教育資源（人材の活用）
→人材活用年間計画表の作成（地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰとの連携）

教育活動の基盤
三間・三観をそろえる・つなぐ

【職員の心得】
・時を守り
・場を清め
・礼を正す

【職員の共通実践事項】
・「聴写」指導
・補習指導大謝名っ子タイム
・「清掃手順」の統一実践
・「師弟同行」　「率先垂範」

【よりよい同僚性の発揮】
学びの共同体として
・協働的な関わりで専門性を分かち合う
・知識・経験知を生かして支え合う
・仲間で授業を公開し授業力を高め合う

【めざす教師の姿】
資質向上
・強い情熱
・確かな力量
・総合的な人間力

児　童　観：　子ども達一人一人は、さまざまなよさや可能性を内に秘め、自分の夢やよりよく生きたいという願いをもって、自身のよさや可能性を発揮して豊かな自己実現を目指している存在である。

教　師　観：　子ども達一人一人の夢やよりよく生きたいという願いの実現に向かう考えや試みを、その子のよさと受けとめ、温かく共感し、指導・支援する存在である。

生徒指導観：　一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めていく教育活動を通して、自己指導能力を育成する。そのために、①自己決定の場を与える　②自己存在感を与える　③共感的人間関係を育成する